

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
翁長 学	農家への支援策と、観光産業 に対する支援	1) 今期の製糖は過去最悪の収穫量でした。町としての支援策は。(ほか、農作物も含む) 2) 低迷する観光入域数に対して、町としてどう対応していくのか。	町長	1) 今期製糖は、昨年の低温日照不足や5月の台風により、さとうきび生産実績が前年対比で43%も減収し過去最低の35,300トンとなり大変厳しい状況にあります。町としては、引き続き病害虫防除対策や農業共済加入促進に力を入れていきたいと考えています。また、全体的な支援としては地力増進を図るために堆肥購入価格の支援策を図っていきたくと考えています。 2) 観光入域客数の増加対策についても、引き続き観光協会や関係団体との連携を図りながら誘客宣伝活動に力を入れていきたいと考えています。
幸地 猛	総合運動公園等の整備について	1) 陸上競技場(400Mトラック)の建設について 2) サッカー場の建設について 3) 沖縄角力場の建設について	町長	総合運動公園内の各種競技施設については需要の面が一番重要だと考えています。400Mトラックの陸上競技場及びサッカー場は児童・生徒の競技力向上やスポーツキャンプ誘致の面、さらに沖縄角力については中学校の体育に一部取り入れられていることなどから、それぞれの競技場の整備については個別の議論が必要かと考えています。
幸地 猛	イーブビーチの管理について	日本の渚百選にふさわしい砂浜の整備について	町長	イーブビーチについては、日本の渚百選にふさわしい砂浜として、継続的な管理ができるようにビーチクリーナー等の管理機材の導入を検討し、しっかりした管理体制の元で運用ができるように対策を図っていきたくと考えています。
幸地 猛	農業の振興について	海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業について ア) 施設規模、品種、耕作者、販売先、次への展開等 イ) 農業後継者育成について	町長	ア) 本実証事業の施設規模は面積が約120◆で、栽培品種としては当面の計画としてサラダ菜やフリルレタスなどの葉物を想定しております。本施設は実証施設の位置づけであり耕作者というより実証事業への参加者として深層水農業利用研究会や久米島高校園芸科を考えております。将来的な展開としては夏場の端境期に島外から島内に入る葉物野菜に変わる供給を目標としています。 イ) 農業後継者育成については、国の新しい農業制度による、人・農地プラン策定の中で位置づけし、新規就農計画を作成していきたくと考えています。また、県の一括交付金の活用や町独自の支援策も含めて検討し対策を講じていきたくと考えています。
幸地 猛	太陽光発電の推進について	設置補助(個人住宅)について	町長	太陽光発電については固定価格買取制度が7月からスタートすることもあり需要増も見込まれますが、初期導入費用がかなりの高額であることから補助制度があったとしても導入できる町民は限定的になるかと思えます。設置補助については一昨年の緊急経済対策時の補助制度の反省を踏まえて今後、再検討したいと思えます。
幸地 猛	公衆トイレについて	観光客が不自由を感じているのでトクジム(旧青少年旅行村跡地)に公衆トイレを建設したらどうか。また、島内各公衆トイレの管理を行い、気持ちよく利用できるようにしてはどうか。	町長	トクジム(旧青少年旅行村跡地)の公衆トイレの整備については、以前からトイレに使用する水の確保等の問題がありますので、現在のところ新たに設置することは考えていません。 島内各公衆トイレの管理につきましては、苦情のないように清掃管理を行っております。現在町民や観光客からの苦情等はございません。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原 哲也	高速船の早期導入に向けて検討委員会の設置と関係機関との協議を早急にせよ	<p>大量輸送手段の航空路のジェット便が減便され修学旅行等、団体ツアー客が大幅に減少し、観光関連産業が大変厳しい状況にある。昨年12月の一般質問で町長は「高速船の導入時期としてニューくめしまの引退時期の5～6年先が良いタイミングでは」と答弁している。しかし、1月の観光協会のプロモーションでも、那覇—久米間の輸送の問題が旅行会社や学校等から指摘され、誘客増に先が見えない状況にある。現在、那覇—宮古島便の航空運賃が3千円台で販売されている。また、来年度に石垣空港が開港した場合、さらに価格競争に拍車がかかり、運賃の高額な久米島の観光客のさらなる減少につながりかねない。7月に新造フェリーが導入されても、3時間半の航海時間では団体客誘致には厳しく、1時間～1時間半で航海でき200～300名定員規模の高速船の早急な導入が必至である。そこで、昨年12月の一般質問に続いて再度確認したい。</p> <p>1) 久米商船とのこれまでの交渉結果、久米商船側からフェリーニュー久米島の代船として高速船を導入する姿勢がみられたか。</p> <p>2) 調査の結果、久米島航路に適した船として海外で使用または、試験航海中のトリマラン(三胴型)タイプの船が世界中で20数隻運航しているとの報告があったが、イタリア、アメリカ、オーストラリアいずれか現地へ行つての調査も行ったか。</p> <p>3) 議会の視察研修として候補に挙がっている島根県では、双胴(カタマラン)タイプで定員320名、時速45ノットの船が就航しているとの資料がある。久米島—那覇間にすると1時間15分位で航行できることになる。その他にも国内で高速船が就航していると思うが、すべて調査済みか。</p>	町長	<p>1) 久米商船とはこれまでの答弁のとおり「フェリーニューくめしま」の引退を目処に高速船導入を図るとの認識で一致しております。ただ、ご指摘のとおり観光入域客の減少も予想されますので今月から高速船導入検討委員会を発足して船種及び財源、導入時期を議論します。</p> <p>2) トリマラン型の船について現地調査はまだ行っていません。トリマラン船建造のメーカーからは県内でプレゼン等も受け、詳細なデータを得ていますが、第3者の客観的な情報も必要であったことから先に現地調査を行っている吉岐・対馬の皆さんからも調査資料を頂いております。検討委員会が導入船種についてある程度の方向性としてトリマラン型を示すことができれば実際のトリマラン船をスペイン又はオーストラリアで独自調査することも必要かと考えています。</p> <p>3) 本土の高速船全ては調査しておりませんが、日本製の双胴型高速フェリー及びオーストラリア製の高速船を九州で、また、オーストラリア製の双胴型高速フェリーを北海道で視察しております。</p>
棚原 哲也	県道の未整備区間の早期整備と子供たちを事故から守るための対策を問う	<p>町仲里庁舎及び仲里郵便局の県道と町道の交差する十字路の安全確保について早急な対策を。ここは、庁舎側と郵便局側の南北を通す横断歩道には信号機が設置されているが、十字路であり交通量の多い場所にもかかわらず、東西、南北に車誘導用の信号機が設置されていない。通学時の子供たちは、仲里庁舎前の停留所でバスを下車した後、足早に道路を横断し、歩道のない箇所を通って登下校しているのが現場の状況です。また、庁舎側から県道へ出る多くの運転者が、泊—謝名堂方面から西進する子供たちが視認できず、危険を体感したという声が聞かれる。全国各地で多感している児童の登下校時の交通事故報道が非常に多い中、町としても子どもたちの登下校時の安全確保のために、島内の歩道の未整備箇所を調査することが必要である。同時に、先に指摘した交差点から泊までの県道の早期整備を求め、県へ優先整備を要望をする考えはないか。</p>	町長	<p>質問のヶ所につきましては、変則的な交差点と見通しの悪さが混在している場所です。交通安全上非常に危険な状況であることは以前から認識をしております。その状況の改善について県の方に幾度となく要望をしましたが旧態依然として未整備な状態が続いております。安全な道路環境を確保するために引き続き県へ整備要望をして参ります。</p>
棚原 哲也	観光施設の安全対策を早急にせよ	<p>奥武島島石側の階段式護岸は子どもたちや高齢者、身障者が昇降するのに勾配が急であり、各段の傾斜角度も危険な状態にあり、安全対策として早急に手摺りの設置、又はスロープの設置をする必要があると思うが。</p>	町長	<p>本施設は昭和58年度～59年度に林地荒廃防止施設災害復旧事業として整備されております。よってその護岸は背後の保安林を守るための保安林施設なので、その施設に手摺りやスロープ等の付帯施設を設置するためには、形質変更の手続きを行う必要があります。基本的にはその護岸施設の機能を減失しないような施設であれば設置は可能と思われます。今後関係課と調整を図り、必要であれば設置に向けて取り組みたいと思います。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城 安雄	中学校統廃合について	1)12月定例会において、中学校統廃合の進捗状況について質問をした際、25年度を目途に取り組みたいという趣旨の答弁だったが、地域説明会において26年度に向け調整していると教育委員会は答えている。遅れた原因は何か。 2)地域説明会において、当事者校の保護者は統廃合に前向きであるとの意見が多数であると聞く。今後26年度に確実に統廃合を行うとの行政側の意思を住民に明確にして進めていくべきではないか。	教育長	中学校の統廃合については、これまで平成25年度を目標に取り込むと申し上げてきましたが、スケジュールが遅れて、25年度実施が困難になったことをお詫び申し上げます。今後も両中学校区での地域説明会、又、保護者の理解を得るとともに統廃合検討委員会からの答申を受け、26年度統廃合に向け進めて参ります。
玉城 安雄	久米島一周線(儀間～真我里間)の歩道及び街灯の整備について	現在、真我里の終点から儀間の入り口まで部分的に歩道の管理不備及び街灯の未設置で危険な状況である。また、高校生の自転車通学者の帰宅時に暗く危険な状態でもある。また、中学の統廃合により、久米島地区からの自転車通学の可能性もある。この機会に整備する考えはないか。県道であるため、事業主体はどうなるのか。調整は可能か伺いたい。	町長	街灯設置の可能性について県に確認したところ、街路灯を設置する場合「道路照明施設設置基準」に準じて実施しているとのこと。この設置基準によれば質問にあるヶ所については要件に合致しない為、県による街路灯設置については難しい状況であるとのこと。しかし、現状を見てみると法線的にカーブ地点や街路樹が視界を妨げるヶ所も多くあり、特に夜間は、かなりの危険性をはらんでいる道路だと認識しております。よって道路利用者の安全確保の面から今後とも県に対し何らかの手当を施して頂くよう要望して参ります。
玉城 安雄	一般質問の検討事項の報告について	一般質問の答弁において、「検討する」「考慮する」「努力する」等の言葉で結んだ答弁は、公開の場でもある議場で発したもので、住民に対しても約束したものである。議会閉会後どのように対応し検討したのか、検討努力したができなかったのか等、その結果を次期議会冒頭で報告するべきであると思うが、どのように考えるか。	町長	一般質問の答弁結果がその後どうなったかについては、「一般質問その後の対応」として1年分をとりまとめ、毎年9月定例議会で報告をしています。
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	福島第一原発事故から一年余を経た今では、放射性セシウム等は東京湾などの河口に集積する傾向があること。富士山にも降ったこと等が報道されていること。原子力安全委員会の暫定基準値を使った食品を1年間食べ続けた場合に年間5ミリシーベルトになる内部被ばく量が、今年4月からほぼ5分の1に引き下げられ、厳しくなった。 町長は、放射性物質の内部被ばくを鳥島射爆撃場の残留劣化ウラン弾に置き換えて判断することはできるのか。また、鳥島射爆撃場が継続使用となっているために、米軍の飛行場基地の返還を困難にさせていると思うがどうか。	町長	鳥島射爆撃場の劣化ウラン弾による内部被曝は、劣化ウラン弾の特性やこれまでの調査結果からないものと考えています。鳥島射爆撃場の継続使用が、普天間飛行場や嘉手納飛行場の返還を困難にさせているのではなく、嘉手納飛行場があるから、鳥島射爆撃場の返還が困難になっているものだと考えています。
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去と、これに伴う潮害防備保安林等の植栽について(河川も含む)	昨年3月の東日本大震災の際に、ある大手会社が25年前に海側に長さ数百メートル、高さ6mの土手に松等を植栽した築山に数百名が、津波から逃れたとのテレビ報道があった。これからすると、築山堤防は、津波に強いことが解る。モデルケースとして早めにシンリ浜のコンクリート護岸を撤去すべきと考えるが、町長としてはどう思うか。 また、今年5月19日に鹿児島県霧島市における全国ホテル研究会に参加したが、約200人の参加者であった。地元霧島市の熱烈な取組と、夜のホテルの乱舞には感動した。石と土で造成した用水路にホテルが乱舞する一方で、三面コンクリートの用水路には少なかった。久米島では、本年4月20日から21日にかけての豪雨は、赤土を川や海に垂れ流して海洋深層水にも影響を与えたと思われる。町長に伺う。河川に対する自然工法と赤土防止対策はどうなっているのか。	町長	質問の件につきましては、以前から申し上げている通り、既存施設の改修については多くの課題があるため、町としては、今後新たに整備する河川については極力近自然工法での整備に向けて取り組む方針であります。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原 総清	沖縄角力協会久米島支部への助成増額について	今や沖縄角力に魅力を感じて見学者も多く、特に女性に人気になっている。この伝統文化を発展させることにより、観光客のファンも増加すると考えられる。さらには、経済外交へのかけ橋にもなると思う。また、子ども達への適切な指導や後継者育成が必要となるが、町長としてはどう考えているか伺う。	教育長	久米島は、沖縄角力の本場として多くのチャンピオンを輩出してきました。これは、沖縄角力協会久米島支部による選手の強化育成・指導、島内の6場所の審判員、本島での10場所以上に選手派遣を行う等、積極的な支部の活動、支部員の努力のおかげであります。今後も継続的な活動を期待いたします。
仲村 昌慧	持ち家手当について	持ち家に対する住居手当をめぐっては、平成21年に国が廃止したのを受け、総務省が地方にも見直しを要請したが、沖縄県は38市町村で制度が残っている。持ち家手当とはどういうものか。本町は、この制度が残っているのか。残っているとすれば、今後見直す考えはないか伺う。	町長	持ち家に対する手当については、住居手当の中で、自己の住宅を新築又は購入した場合、5年間に限り月額2500円を支給するもので、本町もこの制度が残っています。給与制度の運用は国、県に準ずることになっていますが、国と県の制度が異なる場合は、原則として県に準ずることになっていて、県もこの制度が残っています。今後については、県や他市町村の動向もみながら職員組合と協議をしたいと考えています。
仲村 昌慧	ショウキズイセンの群落について	平成7年から平成12年にかけて、だるま山公園一帯に約3万球のショウキズイセンの群落ができ。毎年10月ごろに黄色いきれいな花を咲かせて、人々の目を楽しませてきたが、近年は花数が減ってきている。一方、昨年空港入口より長竹松並木に向けて、かなり多くの花が咲き大変好評であった。私は、ショウキズイセンの群落の規模を拡大し、迫力ある群落をつくることを提言してきたが、財政が厳しい中、年次的に計画を立てて進めるのが厳しい状況であった。幸い今年度は、一括交付金によって球美の島緑化推進事業で、ショウキズイセンが保護増殖の対象植物となり、今後ショウキズイセンの群落の規模拡大が期待される。ショウキズイセンの増殖・植栽計画、群落づくりについて当局の見解を伺う。	町長	現在、町では5年計画でショウキズイセンの増殖に取り組んでおります。今後、一括交付金を活用しショウキズイセンの群落づくりに取り組んで参ります。
安村 達明	久米アイランド前の道路整備について	平成20年頃にもイーフ地区の道路整備を要請したが、今だ整備はされておらず比嘉から久米アイランド前道路は、交通の便が悪く苦慮している。観光シーズンに入る前に、せめて道路の中央線だけでも早めの対策を。	町長	同道路の整備については、国庫補助による事業採択について毎年県に申請をしていますが、採択要件に合致しない部分がある事や県全体での優先順位の理由により依然として未採択のままであります。しかし、この路線は県道と観光地を結ぶ重要な役割を担っている為、是非とも整備が必要であると考えています。今後も事業採択の目処がつかまでねばり強く要請して参ります。次に区画線の設置による交通事故未然防止対策については、早い時期に対策を講じたいと思います。
安村 達明	鳥害について	鳥害に対しての町の現在までの取組を伺いたい(特にカラス)。高齢者の方々から悲痛な声があり、私もその方々への対応に苦慮している。そして、今後町の取組は。	町長	捕獲かごで有害鳥獣であるカラスの対策に取り組んでおります。区長会からも同様の要望がございましたので、現在新たな捕獲かごをいくつか作成しカラスの対策に取り組む計画であります。
平良 義徳	椎名川の倒木の除去について	去った4月19日から20日未明にかけての豪雨で本町全域で道路の決壊や崖崩れが起こった。また、川の氾濫等で農作物は大きな被害を受けている。担当課では復旧に向けて取組んでいるが、特に椎名川一体では花卉や野菜農家が多く野菜や農機具、ハウス等が被害にあっている。その大きな要因は川が氾濫したためと思われる。ハウスの状況からみて約1.5m以上水位があったのを確認した。氾濫理由として数多い倒木に雑草等が集積したためだと周辺農家の意見あり、倒木の除去の要望があるが、除去の考えはないか。	町長	現場確認を行ったところ、状況からすると河川内の倒木に雑物が堆積し河川の流れを阻害しその影響により水位上昇が起こり周囲の農地に冠水被害が起きたと想定されます。このままの状況を放置すると、これから台風シーズンを迎えるにあたり更に被害を被る可能性があるため、早急に対策を講じたいと思います。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
島袋 完英	兼城港から県道バイパスまでの新道路建設について	県道バイパスから直接港湾へ入る道が無く、大型車両の通行が大変不便である。また、具志川側の車両がほとんど字大田の公園前の生活道路を通行しており、大変危険である。港湾からバイパスまでの道路建設は早急にすべきだがその計画は。	教育長	県道久米島空港真泊線(通称バイパス)から兼城港へのアクセスにおいて車両の大型化や交通量の増加とは相反し二車線道路がないため、大田集落内の狭隘な道路を利用する傾向が見られます。ところが集落内の道路は幅員狭小の上歩道がないため字大田の住民にとっては非常に危険な環境に於かれているのが現状であります。また、兼城港へ大型トレーラーの出入りが多くなっている中、仲泊側(旧道)から兼城港への出入りにおいては大型車両の回転半径が不足し大港橋方面からの迂回を余儀なくされています。その様な背景から交通安全対策はもちろんのこと産業振興の面からもバイパスから直接兼城港に乗り入れが出来る道路が必要であり県に対し同道路の整備を強く要望をしております。
島袋 完英	字兼城(新城整備工場前)から字大田(久米島総業前)までの、歩道建設について	字兼城から字大田までの旧県道(北側)に歩道がなく、子供たちの通学や大田内からの車両の出入りが非常に危険である。建設の計画は。	町長	歩道設置計画の有無について県に確認したところ具体的な整備計画は無いとのこと。その区間においては一部狭小(幅員1.5m)の歩道がありその再整備については今後検討していくとのこと。しかし、既存の歩道は歩行者が利用しづらい位置にあるため、歩行者の安全確保のため新たな歩道設置を要望をしております。
島袋 完英	大田橋の移設保存について	大田橋はその建設年代は不明ですが、旧具志川村の大田から東と西を結ぶ経済・文化交流の唯一の架け橋でした。今回の道路改良工事にあたり、歴史的価値のある構造物として、移設保存すべきと思うが、町長の考えは。	町長	同石橋が歴史的、文化的に価値のある物なのか調査をし保存に値すると判断された場合は移設保存又は現況保存について県に要望致します。
島袋 完英	町営遊技場(パチンコ・スロット)の建設を	島外者の経営する事業所が多数ある中、最も盛況なのがパチンコ&スロットです。雨天の日はもちろん、キビ収穫時期はたいそう賑わっています。これだけ愛好家がいるんでしたら、一層のこと町営の遊技場を建設したら良いかと思うがいかがか。注ぎ込んだ金は島に残ります。それを福祉面に活用できます。	町長	日本において、公営ギャンブルとして認められているのは、競馬、競艇、競輪、オートレース、スポーツ振興宝くじ、宝くじの6つで、パチンコは公営ギャンブルとして認められていません。したがって、町が公営ギャンブル以外の遊技場を建設することはできません。
島袋 完英	格安航空会社(LCC)の誘致委員会の結成を	現在の一般旅客航空運賃で、観光客の入り込み増は望めません。箱物がいかに良くても所詮運賃です。通年型観光を目指すにも定額運賃には勝てません。LCC誘致委員会を立ち上げて、行動すべきではないか。	町長	現在の一般旅客航空運賃で、観光客の入り込み増は望めません。箱物がいかに良くても所詮運賃です。通年型観光を目指すにも定額運賃には勝てません。LCC誘致委員会を立ち上げて、行動すべきではないか。
喜久村 等	区長手当(業務委託)の見直し及び区長会長手当について	区長は行政と町民のパイプ役として重要なポストにあるが、両村合併してすぐに区長手当の基本額の10%が削減され、今だに見直しされていない。見直しの考えはないか。また、区長会長の手当を出してはどうか。	町長	区長に対する事務委託料は、現在基本額が45,000円、世帯数割りが1世帯当たり300円となっています。区長会長については、月額10,000円、副会長が月額8,000円の手当を支給しています。この額が妥当かどうかは、今年度スタートしました行政改革推進室で他市町村の状況を調査した上で検討したいと考えています。
崎村 正明	中学校統廃合の進捗状況について	久米島中学校と仲里中学校の学校統廃合は、保護者や地域の理解も得ながら目標年次での統廃合が実現できるようにして取り組んでいるようだが、進捗状況を伺いたい。	教育長	中学校統廃合の進捗状況につきましては、久米島校区及び仲里校区で保護者説明会、地域説明会を開催し統廃合についてご説明をいたしました。引き続き、両校区全世帯にパンフレットを配布し、再度、地域説明会を実施した上で、統廃合検討委員会の答申を受け、両校区の児童・生徒・保護者にアンケートを実施し状況を見極め26年度の統廃合を推進してまいります。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
饒平名 智弘	久米島町職員受験資格について	町の職員受験資格は、これまで住所や本籍地について条件がないが、せめて久米島町に3か月以上住所を有しているか(受験者の父母でも可)または町に本籍を有している人を採用する考えはないか。また町の職員は何名か。夫婦は何組か伺いたい。	町長	本町の職員採用試験の受験資格に住居要件はありませんが、合併後の採用結果からみると、全員が住所又は本籍のいずれかを町内に有するものとなっています。(住所については、本人又は親の住所で判断)H24.4.1現在の町の職員数は他団体への派遣職員を含めて203人で、そのうち夫婦は20組となっています。
饒平名 智弘	イーフ・銭田地区について	久米アイランドの前の東側に駐車場の整備する考えはないか。また、銭田橋が通行止めになり、銭田の住民は大変不便な生活をしている。早急に銭田川の側の道をアスファルト舗装整備できないか。	町長	久米アイランドの前の東側に駐車場の整備する考えはないか。また、銭田橋が通行止めになり、銭田の住民は大変不便な生活をしている。早急に銭田川の側の道をアスファルト舗装整備できないか。